

<分配金のお知らせ>

DWS 通貨選択型エマージング・ソブリン・ボンド・ファンド

豪ドルコース（毎月分配型）愛称：通貨セレクト 豪ドル、ブラジルリアルコース（毎月分配型）愛称：通貨セレクト ブラジルリアル、円コース（毎月分配型）愛称：通貨セレクト 円
追加型投信／海外／債券



お客様各位

作成日：2020年4月20日
ドイチェ・アセット・マネジメント株式会社

DWS 通貨選択型エマージング・ソブリン・ボンド・ファンド 第125期分配金のお知らせ

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

この度、ご投資いただいております「DWS 通貨選択型エマージング・ソブリン・ボンド・ファンド」は、2020年4月20日に第125期決算を迎え、運用状況、市場環境等を総合的に勘案し、分配金（1万口当たり、税引前）を以下の通りいたしました。

次期決算は2020年5月20日を予定しております。今後とも一層のお引き立てを賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

第125期分配金実績（1万口当たり、税引前）

豪ドルコース
（毎月分配型）

15円

※前期より15円引き下げ

ブラジルリアルコース
（毎月分配型）

5円

※前期より15円引き下げ

円コース
（毎月分配型）

15円

※変更なし

<分配金引き下げの主な背景（豪ドルコース/ブラジルリアルコース）>

- 新型コロナウイルスの感染拡大を受け投資家のリスク回避姿勢が急速に強まったことや、原油価格が大幅下落したこと等を受け、豪ドルやブラジルリアルが円に対し大幅安となったこと。この結果、基準価額（1万口当たり）が豪ドルコースでは6,000円を割り込み、また、ブラジルリアルコースにおいては1,000円台まで下落したこと

【図表】分配金実績の推移（1万口当たり、税引前）

決算期 （年/月）	豪ドルコース	ブラジルリアルコース	円コース
第1期-第42期 （2009/12-2013/5）	80円	120円	40円
第43期-第86期 （2013/6-2017/1）	80円	100円	40円
第87期-第96期 （2017/2-2017/11）	80円	55円	40円
第97期-第106期 （2017/12-2018/9）	30円	30円	15円
第107期-第124期 （2018/10-2020/3）	30円	20円	15円
第125期 （2020/4）	15円	5円	15円
設定来累積	8,535円	10,655円	4,275円

※ 分配金の実績は、将来の分配金の水準を保証もしくは示唆するものではありません。運用状況によっては、分配金額が変わる場合、あるいは分配金が支払われない場合があります。

※ 収益分配金については、後記「収益分配金に関する留意事項」をご参照下さい。

※ 過去の運用実績は将来の運用成果等を保証もしくは示唆するものではありません。

<分配金のお知らせ>

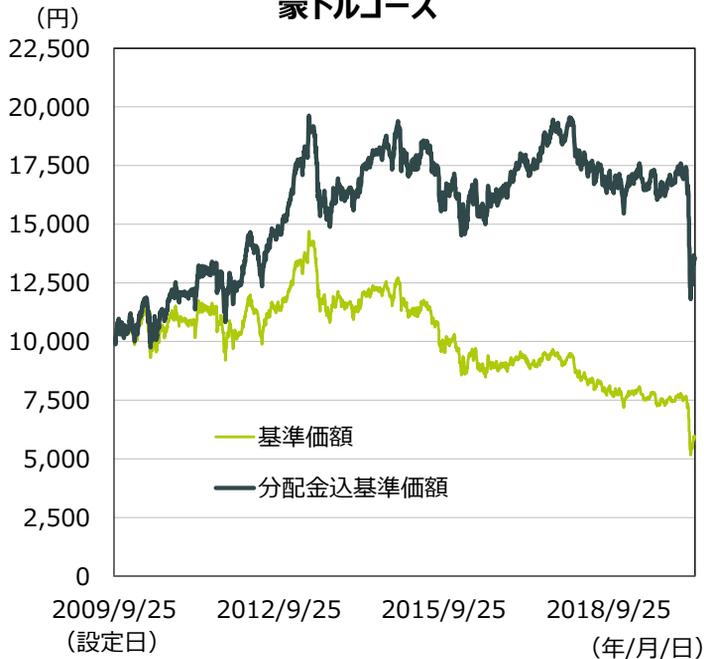


DWS 通貨選択型エマージング・ソブリン・ボンド・ファンド

豪ドルコース（毎月分配型） 愛称：通貨セレクト 豪ドル、ブラジルリアルコース（毎月分配型） 愛称：通貨セレクト ブラジルリアル、円コース（毎月分配型） 愛称：通貨セレクト 円
追加型投信／海外／債券

【図表】設定来の基準価額の推移
(2009年9月25日（設定日）～2020年4月20日、日次)

豪ドルコース



ブラジルリアルコース



<2020年4月20日時点>

基準価額：5,918円

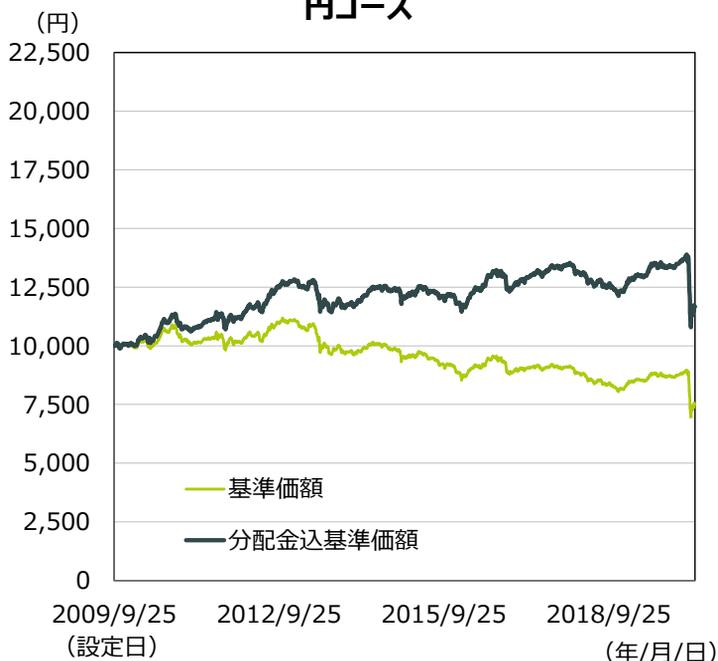
分配金込基準価額：13,564円

<2020年4月20日時点>

基準価額：1,806円

分配金込基準価額：10,398円

円コース



<2020年4月20日時点>

基準価額：7,512円

分配金込基準価額：11,680円

- ※ 基準価額、分配金込基準価額は、1万口当たり、信託報酬控除後の値です。
- ※ ファンドには購入時手数料がかかります。詳しくは10ページをご参照ください。
- ※ 分配金込基準価額は分配金（税引前）を再投資したものとして計算した値であり、実際の投資家の運用成果とは異なります。
- ※ 過去の運用実績は将来の運用成果等を保証もしくは示唆するものではありません。

<市場環境>

原資産：
米ドル建新興国債券

↓
(下落)

- ✓ 新型コロナウイルスの感染拡大を受けた世界的な景気減速懸念から、リスク回避姿勢が急激に強まる。
- ✓ OPECプラスで協調減産協議が決裂。ロシアとサウジアラビアを中心に原油の価格戦争が起きるとの様相が強まり原油価格が急落し、新興国資産を売却する動きが加速。
- ✓ 米国をはじめとして各国が利下げや量的緩和等の金融緩和策を立て続けに投入したこと等を受け、先進国国債利回りは低下。しかし、投資家のリスク回避姿勢が急激に強まり、スプレッド（国債との利回り差）が拡大したこと米ドル建新興国債券の利回りは2020年3月末時点で約7%まで上昇（債券価格は下落）。

【図表】米ドル建新興国債券（指数）の推移
（2009年9月25日～2020年3月31日、日次）



2020年 3月末時点 騰落率	2020年 2月末比	2019年 12月末比	2019年 3月末比
	-13.85%	-13.38%	-6.84%

	2020年 3月末	2020年 2月末	2019年 12月末	2019年 3月末
利回り	7.00%	4.98%	4.93%	5.99%
スプレッド	6.26%	3.73%	2.91%	3.51%

為替：
豪ドル/円
ブラジルレアル/円

↓
(下落)

- ✓ 景気下支えのための利下げの結果、高金利通貨としての魅力が低下。
- ✓ コロナショックを受けたりスク回避姿勢の強まりに加え、原油価格の急落により新興国ならびに資源国の通貨は軒並み大幅安。

【図表】豪ドル（対円）、ブラジルレアル（対円）の推移
（2009年9月25日～2020年3月31日、日次）



2020年 3月末時点 騰落率	2020年 2月末比	2019年 12月末比	2019年 3月末比
	-6.48%	-13.05%	-15.67%

2020年 3月末時点 騰落率	2020年 2月末比	2019年 12月末比	2019年 3月末比
	-13.58%	-22.50%	-26.36%

出所：Bloombergのデータを基にドイチェ・アセット・マネジメント(株)作成

※ 米ドル建新興国債券（指数）はJPモルガンEMBIグローバル・ダイバーシファイドを使用。

※ データは記載時点のものであり、将来の傾向、数値等を保証もしくは示唆するものではありません。

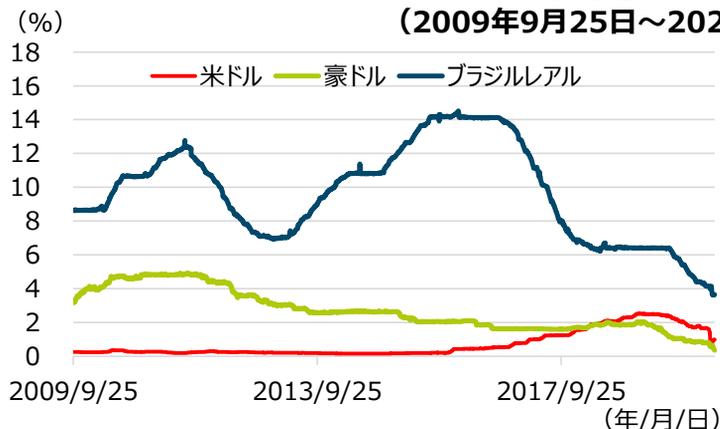
為替取引による
プレミアム/コスト：
米ドルと豪ドル、ブラ
ジルレアルの金利差

↓
(低下)

- ✓ オーストラリア、ブラジルともに景気下支えのための利下げを2019年半ばに再開。米国も2019年半ばに利下げに転じたものの、2018年末まで利上げを行っていたこともあり金利差は縮小。
- ✓ 豪ドルにおいては為替取引によるコストが発生すると見込まれる。
- ✓ ブラジルレアルにおいては為替取引によるプレミアムの獲得が期待できるものの、その水準は限定的。

【図表】短期金利の推移

(2009年9月25日～2020年3月31日、日次)



2020年 3月末時点	短期金利	米ドルとの 金利差
豪ドル	0.35%	-0.64%
ブラジルレアル	3.64%	2.65%
米ドル	0.99%	-

出所：Bloombergのデータを基にドイチェ・アセット・マネジメン
ト(株)作成

※ 短期金利は豪ドルは1カ月BBSW（銀行間取引金利）、
ブラジルレアルは21日金利スワップレート、米ドルは1カ月
LIBORを使用。

※ データは記載時点のものであり、将来の傾向、数値等を保
証もしくは示唆するものではありません。

<今後の運用方針>

米国では、米連邦準備制度理事会（FRB）の強力な金融緩和策に加え、景気後退懸念から、低金利環境が今後も継続すると見込まれます。米国政府は2兆米ドルを超える大規模景気対策法を成立させましたが、新型コロナウイルスの感染拡大が続く中で、新規失業保険申請件数が急増する等、その影響はまだ出始めたばかりであり、今後も感染者数や景気への影響度を巡る観測等が金利の変動要因になると考えられます。

欧州でも、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大と経済活動への悪影響が懸念される中、欧州中央銀行（ECB）による包括的な金融緩和策が引き続き欧州債券市場の下支えとなると予想しています。

新興国債券市場は、新型コロナウイルスの感染拡大を受けたりスク回避の流れや、原油等の資源価格が下落していること等から、当面不安定な動きが続く可能性があります。このため、感染者数の推移や各国の政策対応等を引き続き注視する必要があります。もっとも、こうした状況がある程度落ち着いていけば、主要先進国の金利低下を背景に利回りを求める需要が強まると見られることは同市場にとってプラスに働くと考えられます。

国別では、アルゼンチンやレバノン等では信用懸念が続いていることや、資源価格下落の影響等も異なっており、新興国の間でも引き続きパフォーマンスが分かれる展開を予想しています。

今後のポートフォリオ運営については、各国の政治動向や経常収支等の経済ファンダメンタルズ、割安度等を注視しながら選択的に投資を行う予定です。また引き続き保有（キャリア）効果の獲得を狙った戦略をとる予定です。金利戦略については、主要国の金融政策や資源価格等の市場への影響を見極めつつ、ポートフォリオの金利リスクを調整していく方針です。

<為替の見通し>

日本円

新型コロナウイルスの世界的な流行を背景にリスク回避姿勢が強まっていることから、当面変動が続く可能性が見込まれます。こうした不透明感がある程度後退していけば、日銀の緩和的な政策の継続を背景に円金利が低位で推移していること等が、円安材料になると見えています。

豪ドル

新型コロナウイルス感染拡大に伴うリスク回避的な動きの広がりや、経済への悪影響が引き続き注目されます。日銀による緩和策の継続を背景に、日豪間の金利差が豪ドルを下支える要因と考えています。一方で、豪州準備銀行による追加の利下げの可能性等は、豪ドルの上値を抑える要因と見えています。

ブラジルレアル

中央銀行の金融政策や国内の経済指標、新型肺炎を巡るリスク回避の流れ等が主な変動要因になる見通しです。金融政策や経済指標に改善が見られ始めれば、再評価される可能性も見込まれます。

<分配金のお知らせ>



DWS 通貨選択型エマージング・ソブリン・ボンド・ファンド

豪ドルコース（毎月分配型） 愛称：通貨セレクト 豪ドル、ブラジルリアルコース（毎月分配型） 愛称：通貨セレクト ブラジルリアル、円コース（毎月分配型） 愛称：通貨セレクト 円
追加型投信／海外／債券

ファンドの特色

1 DWS 通貨選択型エマージング・ソブリン・ボンド・ファンドは、豪ドルコース、ブラジルリアルコース、円コースの3本のファンドで構成されています。

(注1) 販売会社によっては、一部のコースのみの取扱いとなる場合があります。詳しくは販売会社にお問合せ下さい。
(注2) 各ファンド間でのスイッチングの取扱いは販売会社により異なります。詳しくは販売会社にお問合せ下さい。

2 各ファンドは、新興国*の政府及び政府機関等の発行する米ドル建の債券等を実質的な主要投資対象とし、高水準のインカム・ゲインの獲得とファンド資産の中長期的な成長を目指します。

※ 投資対象となる新興国は、投資を行う時点で、JPモルガンEMBIグローバル・ダイバーシファイドの構成国、国際通貨基金(IMF)が「新興市場国・発展途上国」に分類する国、世界銀行が「低所得国」または「中所得国」に分類する国のいずれかに該当する国とします。なお、投資対象となる新興国は、実質的な運用を行うDWSインベストメントGmbHの判断により変更される場合があります。

3 各ファンドはファンド・オブ・ファンズの方式で運用を行います。

● 主要投資対象であるDWS エマージング・ソブリン・ボンド・マスター・ファンドの特色は以下の通りです。
主に新興国の政府及び政府機関等の発行する米ドル建の債券等に投資し、高水準のインカム・ゲインの獲得とファンド資産の中長期的な成長を目指します。米ドル建以外の資産への投資は、原則として、ファンド資産の20%以内とします。ただし、この場合は当該米ドル以外の通貨売り、米ドル買いの為替取引を行うことを原則とします。

ポートフォリオの平均デュレーションは、原則として、エマージング債券市場平均^{※1}に対して±2.0年の範囲とします。

※1 JPモルガンEMBIグローバル・ダイバーシファイド^{※2}の数値を使用します。当該指数はファンドのベンチマークではありません。また、今後予告なく変更される場合があります。

※2 JPモルガンEMBIグローバル・ダイバーシファイドとは、J.P.Morgan Securities LLCが算出、公表し、米ドル建の新興国国債及び国債に準じる債券を対象として指数構成国の組入比率に調整を加えた指数です。

ポートフォリオの平均格付は、原則として、B-格相当以上とします。

※ 格付が公表されていない場合は、発行体の財務内容等を分析して適切と判断した格付を用います。

※ 複数の格付機関により異なる格付が付与されている場合は、原則として上位の格付を採用します。

DWS エマージング・ソブリン・ボンド・マスター・ファンドは、DWSインベストメントGmbHが運用を行います。

DWSインベストメントGmbHはドイツ銀行グループの資産運用部門(DWS)のドイツにおける拠点です。

● DWS エマージング・ソブリン・ボンド・マスター・ファンドは、次の3つの通貨クラスの円建投資信託証券を発行します。

① 米ドル建資産 ^(注) について原則として豪ドル、ブラジルリアルで各々為替取引(米ドル売り、当該各通貨買い)を行う通貨クラス*	対円での為替ヘッジなし
* 豪ドルクラス、ブラジルリアルクラスがあります。	
② 米ドル建資産 ^(注) について原則として対円での為替ヘッジを行う円クラス	対円での為替ヘッジあり

(注)米ドル建以外の資産へ投資を行う場合は、当該米ドル以外の通貨売り、米ドル買いの為替取引を行うことを原則とします。

● 各ファンドは、主要投資対象とする投資信託証券の他に、「DWS フォルゾーゲ・ゲルトマルクト(ルクセンブルグ籍ユーロ建外国投資信託証券)」にも投資を行います。

4 毎月決算を行い、収益分配を行います。

- 毎月20日(当該日が休業日の場合は翌営業日)に決算を行い、収益分配方針に基づき収益分配を行います。
- 分配対象額が少額の場合には分配を行わないことがあります。

<当資料で使用している指数に関する留意事項>

※ 米ドル建新興国債券(指数) : JPEルガンEMBIグローバル・ダイバーシファイド

JPEルガンEMBIグローバル・ダイバーシファイドは、JPMorgan Chase & Co.の子会社であるJ.P. Morgan Securities LLC(以下「J.P.Morgan」といいます)が算出する債券インデックスであり、その著作権及び知的所有権は同社に帰属します。J.P. Morganは、JPEルガンEMBIグローバル・ダイバーシファイド及びそのサブインデックスが参照される可能性のある、又は販売奨励の目的でJPEルガンEMBIグローバル・ダイバーシファイド及びそのサブインデックスが使用される可能性のあるいかなる商品についても、出資、保証、又は奨励するものではありません。J.P. Morganは、証券投資全般若しくは本商品そのものへの投資の適否又はJPEルガンEMBIグローバル・ダイバーシファイド及びそのサブインデックスが債券市場一般のパフォーマンスに連動する能力に関して、何ら明示又は黙示に、表明又は保証するものではありません。

<分配金のお知らせ>

DWS 通貨選択型エマージング・ソブリン・ボンド・ファンド

豪ドルコース（毎月分配型） 愛称：通貨セレクト 豪ドル、ブラジルリアルコース（毎月分配型） 愛称：通貨セレクト ブラジルリアル、円コース（毎月分配型） 愛称：通貨セレクト 円
追加型投信／海外／債券



DWS 通貨選択型エマージング・ソブリン・ボンド・ファンド投資の3つのポイント

1 ミドル建新興国債券の魅力的な利回り

相対的に高い利回りの新興国の米ドル建の国債及び政府機関債等に投資を行うことで、米国国債への投資と比較して高水準の金利収入が期待されます。

2 為替取引によるプレミアム／コスト

<豪ドルコース、ブラジルリアルコース>
各コースの通貨の短期金利が米ドルの短期金利よりも高い場合、米ドル建資産に対し各コースの通貨で為替取引を行うことで「為替取引によるプレミアム」が期待されます。
逆に、各コースの通貨の短期金利が米ドルの短期金利よりも低い場合、米ドル建資産に対し各コースの通貨で為替取引を行うことで「為替取引によるコスト」が見込まれます。

3 為替の変動

円コース以外の各コースの対象通貨の為替レートが対円で上昇した（円安になった）場合、為替差益が期待されます。逆に各コースの対象通貨の為替レートが下落した（円高になった）場合、為替差損が発生します。
円コースは対円で為替ヘッジを行い為替変動リスクの低減を図りますが、為替変動リスクを完全に排除できるものではありません。

※円コースは米ドル建資産について対円で為替ヘッジを行うため、円の短期金利が米ドルの短期金利よりも高い場合、「ヘッジプレミアム」が、逆に、円の短期金利が米ドルの短期金利よりも低い場合、「ヘッジコスト」が見込まれます。

※「為替取引によるプレミアム／コスト」または「ヘッジプレミアム／コスト」としては、各コースの通貨と米ドルの間の金利差等が反映された収益／費用が見込まれます。

（注）市況動向及び資金動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。

（ご参考）ノン・デリバブル・フォワード（NDF）について

当ファンドでは「ブラジルリアルコース」のみNDFによる為替取引を行っています（2020年1月末現在）。NDFは為替予約取引*の一種です。通常の為替予約取引では、決済日に元本の交換または差金決済が可能ですが、NDFの場合は通貨規制により新興国通貨（例えば、ブラジルリアル）の取引が困難なため、元本交換を行わず決済日の為替レートを使って米ドルによる差金決済が行われます。また、為替取引によるプレミアム／コストは需要と供給等の要因により金利差から計算される理論値から乖離することがあります。特に、NDFの場合は乖離幅が大きくなる場合があります。

* 為替予約取引とは、特定の外国通貨を将来の一定の時期に一定の価格（為替レート）で受け渡すことを現時点において約定する取引をいいます。

<分配金のお知らせ>

DWS 通貨選択型エマージング・ソブリン・ボンド・ファンド

豪ドルコース（毎月分配型）愛称：通貨セレクト 豪ドル、ブラジルリアルコース（毎月分配型）愛称：通貨セレクト ブラジルリアル、円コース（毎月分配型）愛称：通貨セレクト 円
追加型投信／海外／債券



投資リスク

基準価額の変動要因

当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、投資元金が保証されているものではなく、これを割込むことがあります。当ファンドに生じた利益及び損失は、すべて投資者に帰属します。基準価額の変動要因は、以下に限定されません。なお、当ファンドは預貯金と異なります。

1. 金利変動リスク

債券価格は、通常、金利が上昇した場合には下落傾向となり、金利が低下した場合には上昇傾向となります。したがって、金利が上昇した場合には、保有している債券の価格は下落し、ファンドの基準価額が影響を受け損失を被ることがあります。特に、新興国の債券等の価格は、こうした金利変動や投資環境の変化等の影響を大きく受け、短期間に大幅に変動する可能性があります。

2. 信用リスク

債券価格は、発行者の信用状況等の悪化により、下落することがあります。特に、デフォルト（債務不履行）が生じた場合または予想される場合には、当該債券の価格は大きく下落（価格がゼロとなることもあります。）し、ファンドの基準価額が影響を受け損失を被ることがあります。特に、新興国の債券等の格付の低い債券は、格付の高い債券と比較して、一般的に信用度が低く、発行者の信用状況等の変化により短期間に価格が大きく変動する可能性やデフォルトの可能性が高いと考えられます。

3. 為替変動リスク

<豪ドルコース／ブラジルリアルコース>

各ファンドの実質的な保有外貨建資産（米ドル建資産）について、原則として対円での為替ヘッジを行わず、各コースにおける通貨での為替取引（米ドル売り、当該各通貨買い）を行うため、各ファンドは当該各通貨の対円での為替変動の影響を受けます。したがって、為替相場が当該各通貨に対して円高になった場合は、ファンドの基準価額が影響を受け損失を被ることがあります。特に、新興国の通貨については、政治、経済情勢の変化等による為替相場の変動がより大きくなる可能性があります。なお、実質的な保有外貨建資産額と為替取引額を完全に一致させることができるとは限らないため、米ドルの対円での為替変動の影響を受ける可能性があります。また、当該各通貨と米ドルの金利差等が反映された為替取引によるコストがかかり、基準価額の下落要因となる可能性があります。

<円コース>

ファンドの実質的な保有外貨建資産（米ドル建資産）について、原則として対円での為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を図ります。ただし、完全に対円での為替ヘッジを行うことができるとは限らないため、米ドルの対円での為替変動の影響を受ける可能性があります。また、円と米ドルの金利差等が反映されたヘッジコストがかかり、基準価額の下落要因となる可能性があります。

4. カントリーリスク

投資対象国（為替取引対象国を含みます。）の政治、経済情勢の変化等により、市場が混乱した場合や、組入資産の取引に関わる法制度の変更が行われた場合等には、有価証券や通貨等の価格が変動したり、投資方針に沿った運用が困難な場合があります。これらにより、ファンドの基準価額が影響を受け損失を被ることがあります。特に、新興国への投資については、一般的に先進諸国への投資に比べカントリーリスクが高くなります。

5. 流動性リスク

急激かつ多量の売買により市場が大きな影響を受けた場合、または市場を取り巻く外部環境に急激な変化があり、市場規模の縮小や市場の混乱が生じた場合等には、機動的に有価証券等を売買できないことがあります。このような場合には、当該有価証券等の価格の下落により、ファンドの基準価額が影響を受け損失を被ることがあります。

その他の留意点

■一部の新興国の通貨（特に為替規制を行っている通貨）については、ノン・デリバラブル・フォワード（NDF）という取引手法を用いて為替取引を行う場合があります。NDFは為替予約取引の一種ですが、当該通貨を用いた受渡しは行われず、米ドル等の主要通貨によって差金決済されます。当該新興国の為替市場における通貨の値動きは、内外の為替取引の自由化を実施していないことから、価格間の裁定が働きにくい状況となっており、NDFにおける通貨の値動きと実際の為替市場の値動きは一致せず、大きく乖離する場合があります。この結果、当該通貨コースの基準価額の値動きが、実際の為替市場の値動きから想定されるものと大きく乖離する場合があります。

<分配金のお知らせ>

DWS 通貨選択型エマージング・ソブリン・ボンド・ファンド



豪ドルコース（毎月分配型）愛称：通貨セレクト 豪ドル、ブラジルリアルコース（毎月分配型）愛称：通貨セレクト ブラジルリアル、円コース（毎月分配型）愛称：通貨セレクト 円
追加型投信／海外／債券

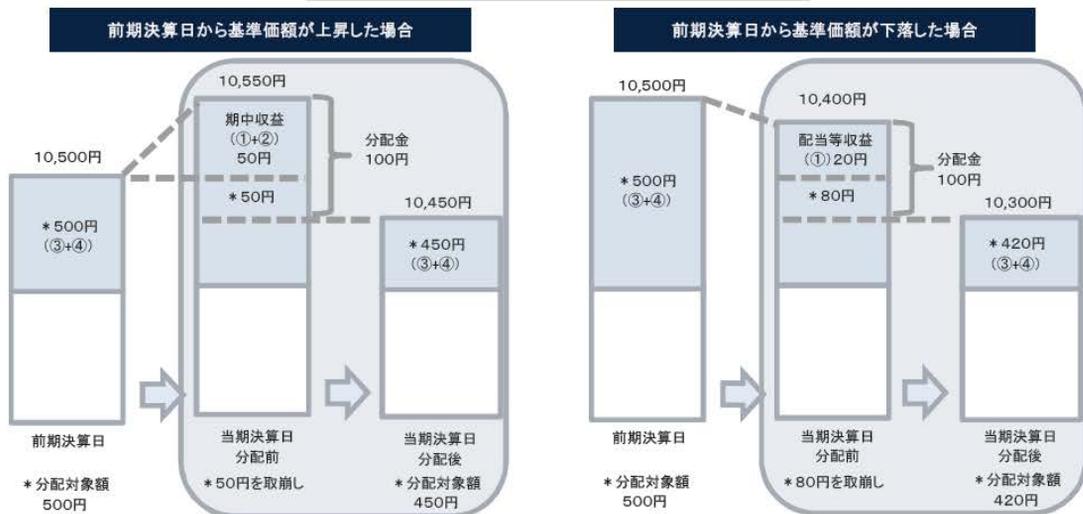
収益分配金に関する留意事項

●投資信託の分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。なお、分配金の有無や金額は確定したものではありません。



●分配金は、計算期間中に発生した収益（経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益）を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合

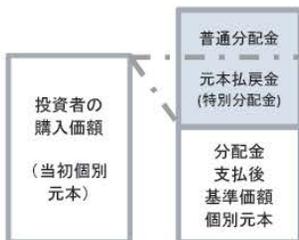


(注) 分配対象額は、①経費控除後の配当等収益及び②経費控除後の評価益を含む売買益並びに③分配準備積立金及び④収益調整金です。分配金は、分配方針に基づき、分配対象額から支払われます。

※上記はイメージであり、実際の分配金額や基準価額を示唆するものではありませんのでご留意下さい。

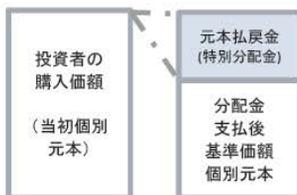
●投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払い戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりりが小さかった場合も同様です。

分配金の一部が元本の一部払戻しに相当する場合



※元本払戻金(特別分配金)は実質的に元本の一部払戻しとみなされ、その金額だけ個別元本が減少します。また元本払戻金(特別分配金)部分は非課税扱いとなります。

分配金の全部が元本の一部払戻しに相当する場合



普通分配金：個別元本（投資者のファンドの購入価額）を上回る部分からの分配金です。

元本払戻金（特別分配金）：個別元本を下回る部分からの分配金です。分配後の投資者の個別元本は、元本払戻金（特別分配金）の額だけ減少します。

(注) 普通分配金に対する課税については「投資信託説明書(交付目論見書)」の「手続・手数料等」の「ファンドの費用・税金」をご参照下さい。

<分配金のお知らせ>



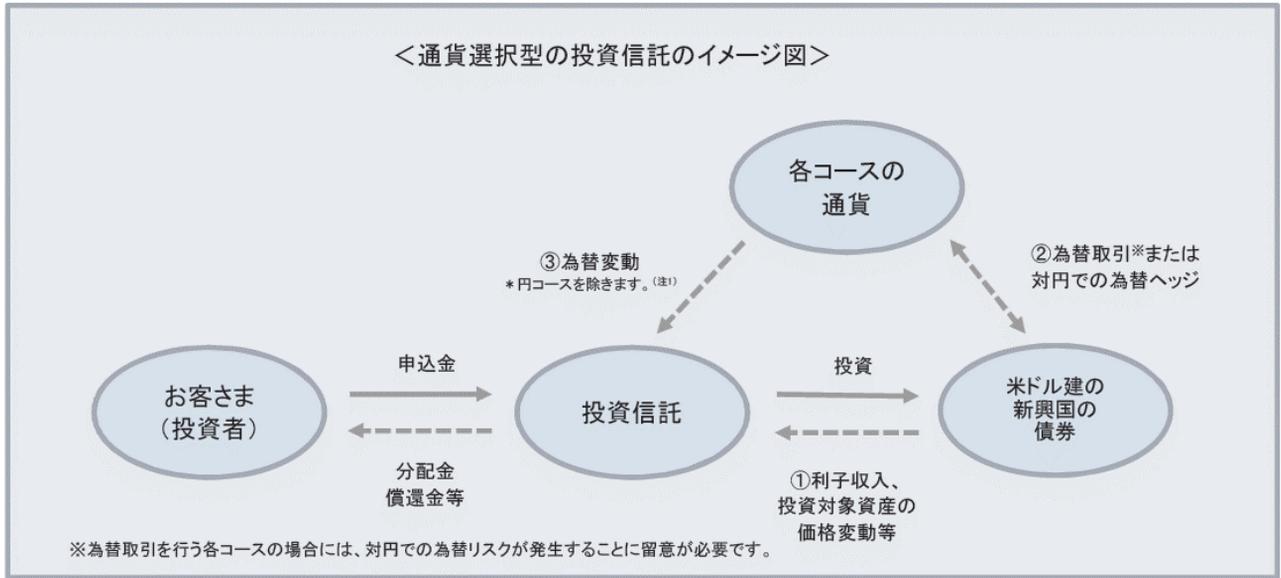
DWS 通貨選択型エマーシング・ソブリン・ボンド・ファンド

豪ドルコース（毎月分配型）愛称：通貨セレクト 豪ドル、ブラジルリアルコース（毎月分配型）愛称：通貨セレクト ブラジルリアル、円コース（毎月分配型）愛称：通貨セレクト 円
追加型投信／海外／債券

通貨選択型ファンドの収益のイメージ

- 通貨選択型の投資信託は、投資対象資産に加えて、為替取引の対象となる円以外の通貨も選択できるよう設計された投資信託です。

<通貨選択型の投資信託のイメージ図>



※為替取引を行う各コースの場合には、対円での為替リスクが発生することに留意が必要です。

- 通貨選択型の投資信託の収益源としては、以下の3つの要素が挙げられます。これらの収益源に相応してリスクが内在していることに注意が必要です。

① ② ③
 収益の源泉 = 米ドル建の新興国の債券の利子収入、値上がり／値下がり + 為替取引によるプレミアム／コストまたはヘッジプレミアム／コスト(注2) + 為替差益／差損 ※円コースを除きます。(注1)

収益を得られるケース	・金利の低下 債券価格の上昇	・各コースの通貨の短期金利 > 米ドルの短期金利 プレミアム (金利差相当分の収益)の発生	・円に対して各コースの通貨高 為替差益の発生
損失やコストが発生するケース	・金利の上昇 ・発行体の信用状況の悪化 債券価格の下落	・各コースの通貨の短期金利 < 米ドルの短期金利 コスト (金利差相当分の費用)の発生	・円に対して各コースの通貨安 為替差損の発生

(注1)円コースでは、ファンドの実質的な保有外貨建資産(米ドル建資産)について、為替変動リスクの低減を図るため、原則として対円での為替ヘッジを行います。ただし、完全に対円での為替ヘッジを行うことができるとは限らないため、米ドルの対円での為替変動の影響を受ける可能性があります。

(注2)「為替取引によるプレミアム／コスト」または「ヘッジプレミアム／コスト」としては、各コースの通貨と米ドルの間の金利差等が反映された収益／費用が見込まれます。

上記はイメージです。市況動向等によっては、上記の通りにならない場合があります。

<分配金のお知らせ>

DWS 通貨選択型エマーシング・ソブリン・ボンド・ファンド



豪ドルコース（毎月分配型）愛称：通貨セレクト 豪ドル、ブラジルリアルコース（毎月分配型）愛称：通貨セレクト ブラジルリアル、円コース（毎月分配型）愛称：通貨セレクト 円
追加型投信／海外／債券

お申込みメモ

申込締切時間／ 購入・換金申込 受付不可日	原則として、販売会社の営業日の午後3時までに購入申込み・換金申込みが行われ、販売会社所定の事務手続きが完了したものを当日の受付分として取扱います。ただし、フランクフルトの銀行休業日またはルクセンブルグの銀行休業日には受付を行いません。
購入価額 購入単位 信託期間／ 繰上償還	購入申込受付日の翌営業日の基準価額 販売会社が定める単位とします。詳しくは販売会社にお問合せ下さい。 信託設定日(2009年9月25日)から2024年6月20日まで ※ただし、各ファンドについて残存口数が10億口を下回ることとなった場合、受益者のために有利であると委託会社が認める場合またはやむを得ない事情が発生した場合には、信託を終了させていただくことがあります。
決算日 収益分配	原則として毎月20日(休業日の場合は翌営業日)とします。 毎決算時に、信託約款に定める収益分配方針に基づいて行います。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないことがあります。 (注)将来の分配金の支払い及びその金額について保証するものではありません。
換金価額 換金単位 換金代金 課税関係	換金申込受付日の翌営業日の基準価額 販売会社が定める単位とします。詳しくは販売会社にお問合せ下さい。 原則として、換金申込受付日から起算して6営業日目から販売会社においてお支払いします。 課税上は株式投資信託として取扱われます。配当控除、益金不算入制度の適用はありません。 原則として、分配時の普通分配金並びに換金(解約)時及び償還時の差益(譲渡益)に対して課税されます。 公募株式投資信託は税法上、少額投資非課税制度の適用対象です。 (注)法人の場合は税制が異なります。税法が改正された場合等には上記の内容が変更されることがあります。

投資者の皆様が負担する費用

時期	項目	費用
投資者が直接的に負担する費用		
購入時	購入時手数料	購入申込受付日の翌営業日の基準価額に 3.85%(税抜3.5%)を上限 として販売会社が定める手数料率を乗じて得た額
換金時	信託財産留保額	ありません。
投資者が信託財産で間接的に負担する費用		
毎日	運(用)信託管理報酬(費用)	実質的な負担(①+②) ①当ファンド 信託財産の純資産総額に対して年率 1.764%程度(税込) ②投資対象とする投資信託証券 年率0.40%以内
	その他の費用・手数料	当ファンド及び組入ファンドにおいて、信託事務の処理等に要する諸費用(ファンドの監査に係る監査法人への報酬、法律・税務顧問への報酬、目論見書・運用報告書等の作成・印刷等に係る費用等を含みます。以下同じ。)、組入資産の売買委託手数料、資産を外国で保管する場合の費用、管理報酬、為替取引または対円での為替ヘッジに係る報酬、租税等がかかります。これらは原則として信託財産が負担します。ただし、これらの費用のうち当ファンドの信託事務の処理等に要する諸費用の信託財産での負担は、その純資産総額に対して年率 0.10%を上限 とします。 「その他の費用・手数料」は、運用状況等により変動するものであり、一部を除き事前に料率、上限額等を表示することができません。

※収益分配金を再投資する際には、購入時手数料はかかりません。
 ※「税」とは、消費税及び地方消費税に相当する金額のことを指します。
 ※投資者の皆様が負担する費用の合計額については、ファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

委託会社、その他の関係法人

- 委託会社 **ドイチェ・アセット・マネジメント株式会社**
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第359号
加入協会 日本証券業協会 一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会 一般社団法人第二種金融商品取引業協会
信託財産の運用指図等を行います。
ホームページアドレス <https://funds.dws.com/jp/>
- 受託会社 **三井住友信託銀行株式会社**
信託財産の保管・管理等を行います。
- 販売会社 当ファンドの募集の取扱い等を行います。
投資信託説明書(交付目論見書)の提供は、販売会社にて行います。
販売会社につきましては、委託会社にお問合せ下さい。

<ご注意事項>

投資信託のお申込みに関しては、以下の点をご理解いただき、投資の判断はお客様ご自身の責任においてなさいますようお願い申し上げます。
 ■当資料は、ドイチェ・アセット・マネジメント株式会社が作成した資料です。■当資料記載の情報は、作成時点のものであり、市場の環境やその他の状況によって予告なく変更することがあります。データ等参考情報は信頼できる情報をもとに作成しておりますが、正確性・完全性について当社が責任を負うものではありません。■当資料記載の内容は将来の運用成果等を保証もしくは示唆するものではありません。■投資信託は、株式、公社債などの値動きのある証券(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元本が保証されるものではありません。投資信託の運用による損益は、投資信託をご購入のお客様に帰属します。■投資信託は、金融機関の預貯金と異なり、元本及び利息の保証はありません。運用状況により、分配金が支払われないこともあります。■投資信託は、預金または保険契約ではないため、預金保険及び保険契約者保護機構の保護の対象にはなりません。■登録金融機関を通じてご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。当資料記載の個別の銘柄・企業名については、あくまでも参考として申し述べたものであり、その銘柄または企業の株式等の売買を推奨するものではありません。■ご購入に際しては、販売会社より最新の投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので、必ず内容をご確認の上、ご自身で判断して下さい。

<分配金のお知らせ>

DWS 通貨選択型エマーシング・ソブリン・ボンド・ファンド

豪ドルコース（毎月分配型） 愛称：通貨セレクト 豪ドル、ブラジルリアルコース（毎月分配型） 愛称：通貨セレクト ブラジルリアル、円コース（毎月分配型） 愛称：通貨セレクト 円
追加型投信／海外／債券



当ファンドの販売会社は以下の通りです。

(五十音順)

金融商品取引業者名	登録番号	加入協会				備考
		日本証券業協会	一般社団法人日本投資顧問業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会	
auカブコム証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第61号	○		○	
SMBC日興証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第2251号	○	○	○	○
株式会社SBI証券	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第44号	○		○	○
岡三オンライン証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第52号	○	○	○	
ニューズ証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第138号	○	○		
マネックス証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第165号	○	○	○	
丸三証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第167号	○			
楽天証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第195号	○	○	○	○